

飛田雄一
源流から 170 キロをくだる
「四万十川サイクリング」



(四万十川源流近くの布施ヶ坂)

●
10 時 45 分 (2023 年 10 月 7 日)、大阪空港から高知空港に向かった。源流から四万十川 170 キロを下るサイクリングに参加するのだ。主催は、京都のヒシダスポーツ。国内外のサイクリングツアーを主催している。私は 2010 年にヒシダスポーツの徳島から室戸・高知サイクリングに参加したことがある。



(このプロペラ機にのった／ほぼ四万十川源流につきました／沈下橋です。)

大阪空港からのメンバーは、18 名。あと東京より 6 名。トラックとバスで現地に向かったメンバーが 2 名、計 26 名のツアーだ。トラックは、現地まで自転車を運んでくれる。私はレンタサイクルだ。私は愛用のクロスバイクを飛行機で持参するつもりだった。が、面倒だとおもってレンタサイクルを予約した。すでにクロスバイクはなく、しかたなく？アシスト自転車をかりた。

高知空港から四万十川ほぼ源流近くの布施ヶ丘道の駅に着いたのが 12 時過ぎ。早いものだ。

自転車は、トラックで届いている。準備をととのえて出発した。先導者は 20 歳の青年。ツアー共同主催者・イワイサイクル社員でヒシダスポーツに出向中とのこと。かっこいいサイクリストだ。

この先導者について行ってもいいし、勝手に走ってもいい。私はついていった。

今回、神戸からは 3 名の参加。私の自転車の師匠・林榮太郎さん、神戸自転車同好会の瓜生隆宏さんそして私。瓜生さんは、私の中学、高校、大学の後輩だ。大学は同じ神戸大学農学部。

初日は、45 キロ。天気も上々。快適だ。四万十川に沿った一般道。一般道といって

も車は少なく、沈下橋にも立ち寄った。なにしろ基本が下りだから楽ちんだ。私のアシスト自転車のアシストは、ほとんど必要としない。



(岩本寺の精進料理？／本堂の絵／本堂の天井)

夕方、宿泊地の岩本寺（いわもとでら）についた。宿坊で泊まる。5人部屋だったが、修学旅行のときのような雑魚寝ではなく、ゆったりとしていた。料理も、精進料理ではなかった。ビールもでた。清算がややこしくなるといけないので、現金払いだった。

そして、疲れからか、酔いがまわったのか、8時ごろには寝た。



2日目。雨。朝6時からお寺のおつとめ。ツアー会社社長のおすすめもあって、参加した。天井の奉納絵がユニーク。講話もおもしろかった。内容は忘れてしまったが。

出発の時間になっても雨はやまない。それなりの準備をして8時に出発。雨のやむ気配はない。気温も下っている。アシスト自転車はときどきの軽い登り坂もほとんどエネルギーを使わないので体はひえる。でも、走る。

道の駅四万十大正。だんだん体の芯が冷えてくる。95キロの工程の半分ぐらいで、道の駅「とおわ」に到着。そこで、社長のお言葉。

「雨がやみそうにありません。低体温症になるとあぶないので苦渋の決断で中止にします」

反対の声はでなかった。私は、とくによろこんだ。

自転車をトラックに積み込み、人間はバスに。途中四万十川の見物をしながらきょうの目的地・中村第一ホテル（四万十市）に到着した。午後3時。バスは早い。自転車だったら雨のなかの走行。想像すると背筋がぞっと、する。



(私の参加証です／沈下橋とわたし／四万十市ホテルの夕食)

ホテルは、個室。思い思いにくつろいだ。さっそく風呂に入った。案内では、2泊とも大浴場ありとあったが部屋の風呂だけだった。まあいいでしょう。前泊も、中浴場でした。

ネットで「幸徳秋水の墓」を検索したら、北へ徒歩 24 分とある。2020 年に、「秋水祭」に参加して訪ねたところだ。ひょんなことから、大逆事件神戸サミットの運営にかかわることになり、秋水祭にも参加したのだった。詳細は、飛田「大逆事件、そして神戸」(むくげ通信 302 号、2020.9) <https://ksyc.jp/mukuge/302/hida.pdf> をご覧いただきたい。

今回は雨なので、秋水のお墓訪問はパスした。

そして、夕食、ビール。そして、ラグビーのアルゼンチン戦。時間がたっぷりあったのでゆったりとテレビを見た。負けたのは残念だが、相手の方がだいぶ強かった。

わが母校・兵庫高校はラグビーが「校技」？で、授業でもやった。そのシーズンになると毎年、1、2 台救急車が来ていた。関連で語られる話に、こんなのがある。

体育の M 先生の授業のとき、その先生めがけてパントをあげる。そして、両チームの選手は先生とボールに飛びかかったとのこと。その後、パントがあがると先生は、逃げ出していたそう。





(神戸からの三人、左から林榮太郎さん、わたし、瓜生隆宏さん／河口。走ってくるふたりは林さん、瓜生さん／ホテルにもどると高知に津波注意報)

3 日目、私は、雨が降ってもサイクリングを決行する覚悟だった。寒くないようにシャツを重ね、カップも登山用とサイクリング用を重ねた。が、雨はやんでいた。うれしい。

四万十川河口 25 キロを走るサイクリングに出発した。ルンルンだ。河口左岸の先端までいった。その道は、自転車専用道路。幅も広く、みんなわいわいしゃべりながら走った。

そして、ホテルにもどった。テレビをつけると伊豆諸島で地震。高知県にも津波注意報がでていた。あれ……。そういえば、消防車が河口にいた。

その後、途中、芋けんぴの店によってから高知市内へ。かつおのたたきを食べた。文化財見学もした。



(ここでカツオのたたきを食べました／おいしかった／店長さんのお言葉、「人手不足で閉店を覚悟しましたが外国人のおかげで再開できました」)



(フクちゃんの桜？／歩道にもかつお／文化財・高知大手前高校)

そして、高知空港に向かう。みんな、最後の走りができたので、気分が盛り上がっている。

空港に到着。バスとトラックを運転して京都まで帰るヒシダスポーツの社長・運転手に、みんななんどもお礼をいった。

チケットを受け取り、荷物を預けた。そして、保安検査場に進んだ。

私は、手荷物に水、ウイスキー、パソコンがあった。このウイスキー、往路の大阪空港では、「においをかがせてください」「はい、どうぞ」「OKです」だった。

高知空港ではちょっと違った。

「ウイスキーです」「では、ちょっと飲んでみてください」

びっくりしたが、飲んだ。爆弾でないことを証明しなければならない。



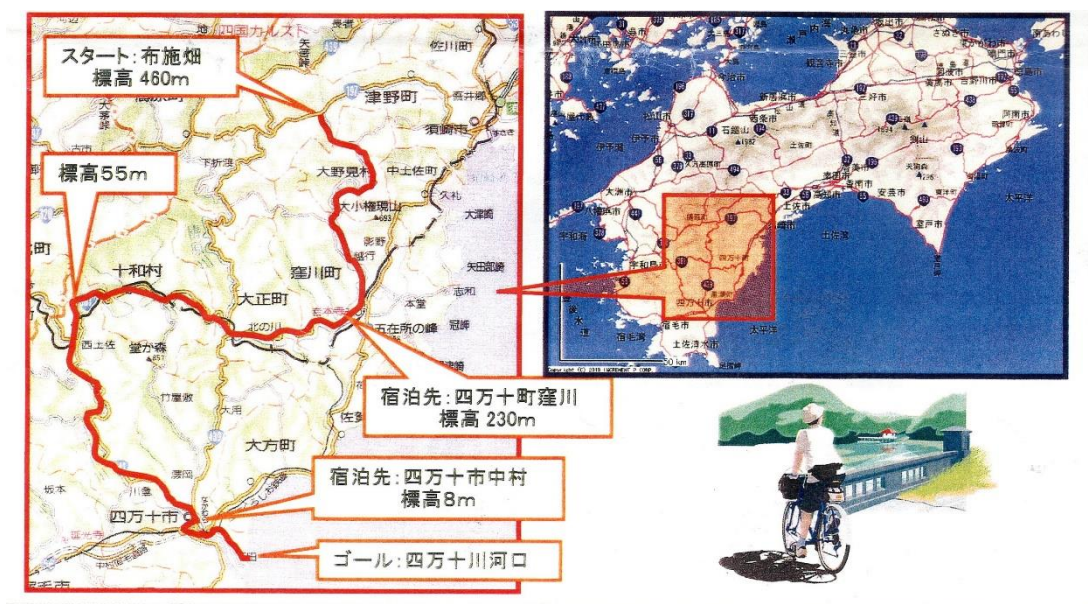
(ここもおもしろかった／これ(右)が問題のウイスキー／大阪空港、カンターの宣伝)

飛行機は、往復ともプロペラ機。帰路は、だいぶ揺れた。ジュースの機内サービスはなかった。で、先のウイスキーを飲んだ。

大阪空港に、無事着陸。久しぶりに、モノレール・阪急で帰った。往路の三宮から

のリムジンバスより早い感じだった。

あこがれの四万十川源流からのサイクリング。一部省略したもの的大満足のサイクリングだった。主催のヒンダスポーツのみなさん、各地から参加のみなさん、ありがとうございました。



(ヒンダスポーツの冊子より)



源流から 170 キロをくだる「四万十川サイクリング」

2023 年 10 月 15 日発行
編集・執筆・印刷・発行 飛田雄一（ひだ ゆういち）
〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 4-3-18-205
e-mail hida@ksyc.jp
